



UNION NEWS

<https://jrtu.jp>

東海旅客鉄道労働組合

東京本部 〒108-0075 東京都港区港南2-1-95
JR東海品川ビル8楼3F (03)6718-1251
名古屋本部 〒453-0002 名古屋市中村区名駅1-1-13 (052)586-3127

JR東海ユニオン

(1部20円)組合員の購読料に含む

発行人 鎌田 隆司 / 編集人 伊藤 大輔

JR東海ユニオン最大の取り組み



全職場総対話行動がスタート!

～組織強化の取り組みとして、対面による総対話行動を展開!～

JR東海ユニオン発
足以来の最重点取り組みである2026秋の「全職場総対話行動」が、10月5日(月)から12月11日(金)までの約2か月半にわたって開催となる。すべての分会が一斉に総対話行動の運営を行い、支部・地本・総支部・中央本部が一体となって実施していく。

「全職場総対話行動」は、組織強化および組織内コミュニケーションの充実を図る上で重要な役割がある。具体的には、直接顔を合わせて双方方向に議論することで、組合員の想いや課題の本質を確認できるだけでなく、組合員からの意見・要望の「熱量」をその場で共有できること。また、「ぎょうむそくほう」や「ぎょうむれぼ」といには記載しきれない行間のやりとりを共有することができ、様々な課題の把握と解決に向けた方向性の議論にもつながることが挙げられる。こうしたメリットを最大化するため、今回の「全職場総対話行動」も「対面形式」にこだわった取り組みを展開する。

「全職場総対話行動」は、中期目標「UNION FUTURE 2027」の総仕上げを進めていく上でも重要な取り組みである。職場の仲間同士で「総対話行動」を行う「声掛け合い、全組合員の力で「全職場総対話行動」を盛り上げていこう!



昨年の総対話行動のようす

総対話行動の進め方

2026秋の「全職場総対話行動」は、各級機関において「対面」開催による総対話行動の取り組みを展開する。(対面参加率50%以上を基本目標とし、40%未満の分会を発生させないよう留意)

取り組み方法については、「みんなであくしょん!」ガイドブック(IV-12)3全職場総対話行動に取り組みよう 260731改訂を参照し、以下の留意点も踏まえる。

総対話行動実施に

あたったのポイント

- ・分会が主体となって総対話を運営する
- ・勤務形態や時短勤務者などの職場実態を踏まえ、すべての組合員が参画できるよう、開催設定を行うとともに、TUNAGアプリも活用しながら前広に告知し、組合員への直接の声掛けも行う
- ・組合員は、総対話集会へ参画し発言するとともに、他の組合員の意見や役員の提起に耳を傾ける
- ・集会で挙げられた意見は、分会が責任をもって集約のうえ、速やかに上部機関(支部、地本・総支部)へ共有する
- ・集会後、職場特有の課題等について分会で2WAYコミュニケーションを展開し、組合員に共有する

詳細は、
こちらから
チェック!!

